

彩とりどりのはだの 講演会+ワークショップ

# 未来の日本を担う 「外国につながる」 子どもたちのために

政府が外国人受け入れの緩和政策に舵を切り、今後ますます日本に住む外国ルーツの子どもたちが増えていくことが予想されます。外国につながる子どもを含めた日本に住むすべての子どもたちが幸せに暮らして、学んでいけるような未来を目指して、全国でも先進的な取り組みを参考に、多文化共生の実現とそれを支える地域づくりについて参加者のみなさんと一緒に考えます。

2019年

8月25日(日)

13時開場

参加費無料

懇親会(有料)は申し込みが必要です。

13:30-15:00  
小島祥美先生 講演

15:00-15:15 休憩

15:15-16:30  
ワークショップ

16:30-17:00  
まとめ Q&A

17:00-19:00  
懇親会(\*)

\* 1人/2160円  
懇親会申し込み期限:  
8月24日(土)

会場

タウンニュースホール

問い合わせ先 / 参加申し込み先



左記 QR コードよりお申し込みください。

電話でのお問い合わせ

東海大学地域連携センター  
0463-50-2406

小島祥美 先生

yoshimik.strikingly.com



愛知淑徳大学(交流文化学部交流文化学科)准教授。(2019年度より)文科省が自治体の要請に応じて派遣する日本語教育アドバイザー。小学校教員、NGO職員を経て大阪大学の大学院に進学。博士論文の研究で、一つの地方自治体(岐阜県可児市)在住の外国籍の子ども全員の就学実態を日本で初めて明らかにした。その研究成果により、同市教育委員会の初代外国人児童生徒コーディネーターに抜擢される。2009年に愛知淑徳大学が大学生のボランティア活動を推進するためのセンターを開設した際に教員として着任。

著書:

『外国人の就学と不就学』(2016 大阪大学出版会)など。

講師からのメッセージ

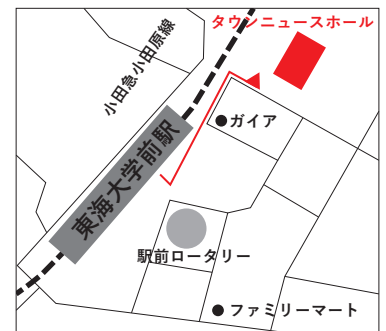
2005年4月から、外国人集住地域である岐阜県可児市では外国人の子ども「不就学ゼロ」を目標にした外国人児童生徒学習保障事業がはじまりました。

これに私は、初期日本語指導教室「ばら教室 KANI」の構想から立ち上げと運営(実際の外国人児童生徒指導)に、専門職員として携わりました。それ以後、全国各地の自治体や学校での初期日本語指導・集中教室づくりの立ちあげや授業づくり等のお手伝いをしています。

加えて、公立高校とコラボしたキャリア教育を考える活動など、外国人の子どもが置かれた数々の教育課題の解決をめざし、

さまざまな機関・関係者と連携して研究活動やボランティア活動を行っています。

会場へのアクセス



タウンニュースホール

神奈川県秦野市南矢名一丁目 5-13  
タウンニュースビル 3F

電車の場合

小田急線「東海大学前」駅南口より徒歩1分

車の場合

- ・ 国道246号線 桜坂交差点より10分
- ・ 東名秦野 I.C. より20分
- \* 駐車場: 20台 (付近に有料パーキングあり)

主催: はだのこども支援プロジェクト「ゆう」/CRI-チルドレンズ・リソース・インターナショナル

共催: 東海大学地域連携センター / 教養学部国際学科 / 国際教育センター / 健康学部

後援: 秦野市 / 秦野市教育委員会

\*本講演会は東海大学連合後援会の研究助成を受けています。